

**製品名: TRIB3 (4E15) ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe19262**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	40kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TRIB3
別名	C20orf97; NIPK; SINK; SKIP3; TRB3; Trib3; Tribbles homolog 3; Tribbles pseudokinase 3; Tribbles3;
遺伝子 ID	57761.0
SwissProt ID	Q96RU7
免疫原	ヒト TRIB3 の合成ペプチド

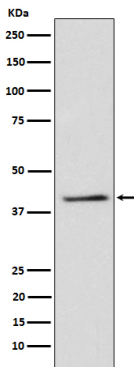
## 背景

Akt キナーゼに直接結合し、その活性化を阻害することでインスリンシグナル伝達を阻害します。AKT1 の「Thr-308」リン酸化部位に直接結合し、その部位をマスクする可能性があります。ATF4 に結合し、その転写活性化活性を阻害します。様々なストレスへの適応プロセスである統合ストレス応答（ISR）の調節因子として機能する不活性型プロテインキナーゼです（PubMed:15781252、PubMed:15775988）。DDIT3/CHOP の転写活性を阻害し、ER ストレス時の DDIT3/CHOP 依存性細胞死に関与します（PubMed:15781252、PubMed:15775988）。プログラム神経細胞死に関与している可能性があります、非神経細胞には影響を与えないようです（PubMed:15781252、PubMed:15775988）。ISR 中の ATF4 依存性転写の負のフィードバック制御因子として作用する。TRIB3 の発現は ATF4 によって促進されるが、TRIB3 タンパク質は ATF4 と相互作用し、ATF4 の転写活性を阻害する（類似性による）。Akt キナーゼに直接結合してその活性化を阻害することで、インスリンシグナル伝達を阻害する（類似性による）。AKT1 の「Thr-308」リン酸化部位に直接結合してマスクする可能性がある（類似性による）。NF- $\kappa$ B トランス活性化因子 p65 RELA と相互作用し、そのリン酸化を阻害することで転写活性化活性を阻害する（PubMed:12736262）。MAPK キナーゼと相互作用し、MAP キナーゼの活性化を制御する（PubMed:15299019）。核 DNA の APOBEC3A 編集を阻害することができる（PubMed:22977230）。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



293T 細胞溶解物中の TRIB3 発現のウエスタンブロット分析。